

第9回 稲門建築会特別功労賞 (2006.5.30)

宮本忠長



表彰理由：

宮本忠長氏は、師 建築家 佐藤武夫教授のもとでの修行を終えて、郷里信州にて設計活動に打ち込まれ、日本芸術院賞、建築学会賞他、多くの受賞作品を設計されている。また、信州小布施町の「街並修景計画」(毎日芸術賞)等の地域活動や、信州大学工学部社会開発工学科では、20年間、設計製図の非常勤講師として、教育活動にも貢献されている建築家である。

一方、(社)日本建築士連合会会長として、建築士の職能の確立や社会的な地位の向上のため、全国への発信を続けている。

さらに、「稲門建築会」にあっては、平成11年、信越支部を設立、支部長に就任された。支部は記念事業として「生活・環境 建築 吉阪隆正展」を開催し、日本建築士会連合会協賛事業として、長野市にて公開、全国からの建築士会会員や市民に大きな感動を与えた。その後の支部活動も「新潟・上越市の小林古径邸復元現場の見学会、長野・松本市のまちなみ見学会」等を経て、平成17年、「建築・美術そして環境」をテーマに稲門建築会会員の美術団体「彩寿会」の協賛を得て、ギャラリートークと美術展を開催、一般公開して会員作品の発表と市民への刺激を提供した。以上のように建築家として優れた作品を創ると同時に、多くの社会貢献をされ、加えて稲門建築会の活動を活発に続けられていることは、高く評価されるものである。

◎経歴：

- 1927年 誕生
- 1948年 早稲田大学専門部工科建築卒業
- 1951年 早稲田大学理工学部
建築学科(工業経営)卒業
- 1951年～64年 早稲田大学教授 建築家
佐藤武夫設計事務所
- 1964年～現在 宮本忠長建築設計事務所 設立
- 1966年 株式会社に改組
- 1996年～現在 長野市都市景観審議会 副会長
- 1999年～現在 稲門建築会信越支部長
- 2002年～現在 (社)日本建築士会連合会 会長
- 2002年～現在 (社)日本建築家協会 名誉会員
- 1993年 黄綬褒章 受章(建設振興功労)
- 2004年 第60回日本芸術院賞 受賞
(松本美術館の設計)
- 2004年 旭日中綬章 受賞(建築設計監理業振興功労)

◎著書：

- 1980年 「寒冷地の工法」井上書院
- 1991年 「住まいの十二月」彰国社
- 2003年 「森の美術館」(村井修氏と共著)
中央公論事業出版

◎主要作品：

- ・長野市立博物館(昭和56年度建築学会賞/作品)
- ・小布施町並修景計画
(第12回吉田五十八賞、第32回毎日芸術賞)
- ・信州高遠美術館(第6回公共建築賞優秀賞)
- ・森鷗外記念館(第3回しまね景観賞一般建築部門優秀賞
建設省公共建築百選入賞)
- ・北九州市立松本清張記念館(第41回BCS賞)
- ・松本美術館(第60回日本芸術院賞、第44回BCS賞)

